



中学生にも広がる深刻な事態 小学生にとっても対岸の火事ではない!!



2月3日 琉新報と沖縄タイムスの記事

近年、SNS やニュースで「吸うとゾンビのように体がけいれんする」「意識を失って倒れ込む」といった衝撃的な映像とともに語られる通称「ゾンビタバコ」。

その正体は、電子タバコのリキッド(液体)に、本来は手術などで使われる強力な麻酔薬成分「エトミデート(Etomidate)」を違法に混入させた危険ドラッグの一種です。見た目は一般的な電子タバコ(VAPE)と変わらないため、ファッション感覚で手を出してしまう若者が後を絶たず、深刻な健康被害や救急搬送事例が急増しています。

「合法アロマ」「未規制ドラッグ」などと謳って販売されることがありますが、これは大きな間違いです。

日本の法律はすでに厳しく対応しています。

指定薬物(または麻薬)としての規制

エトミデートは、その危険性から厚生労働省により「指定薬物」等に指定され、所持・使用・販売・譲渡が厳しく禁止されています。

逮捕・検挙の対象:

「知らなかった」「もらっただけ」という言い訳は通用しません。所持しているだけで逮捕され、重い刑罰の対象となります。

「一度だけ」でも命に関わる健康被害

きっかけの多くは SNS

私たち学校の児童にもスマホを持っている子がいます。スマホは便利である反面、危険性もあります。多くの保護者はその危険性を理解し、フィルタリングをかけ、使用する時間や目的を約束し与えていると思います。しかし、本校においても低学年でも LINE でのトラブルも発生しているのが現状です。

スマホを与える親として、子どもたちを犯罪やトラブルから守るためにも、その使用について把握することが大切です。使用について約束が守れない場合や、子どもの使用について把握していない場合などはスマホを与えるのは控えることが求められると思います。

大きな事に巻き込まれないように、しっかりと見守ることが大切です。各家庭において再度確認して下さい。

学校でできること

◎薬物、スマホやゲームなどの使用についての学習

◎学級指導で危険性の周知

※楽しい授業づくり、学校づくりを実践し子どもを孤立させない。

家庭でできること

◎スマホやゲームの約束を確実に実行する

◎子どもとたくさん会話をする

◎生活リズムを整える